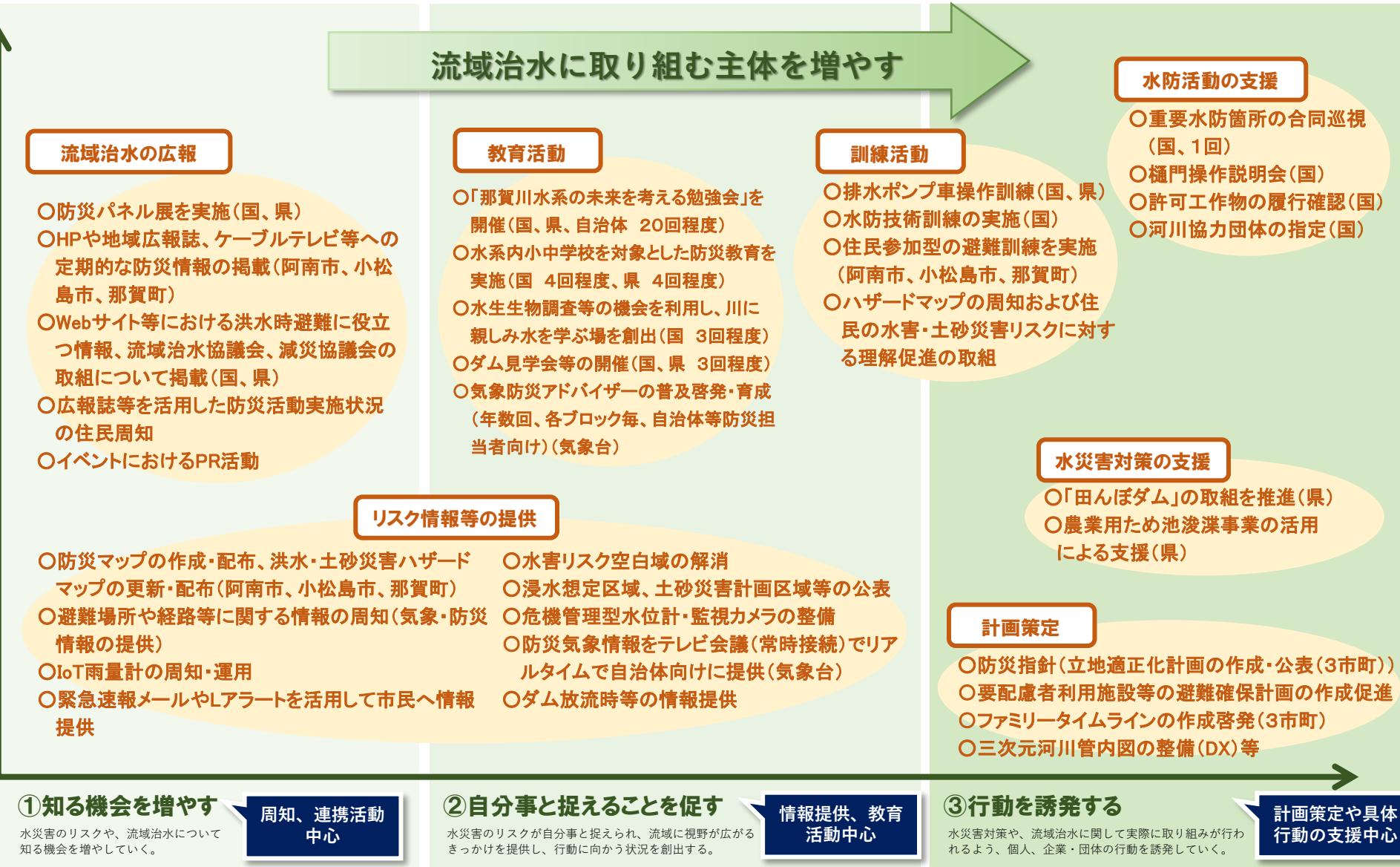


# 那賀川流域治水協議会における 自分事化に向けた取組計画

## 那賀川流域治水協議会(令和6年度の取り組み計画)

流域にも視野を広げる（自分のためにも、みんなのためにも）



# 令和6年度：自分事化に向けた取組のロードマップ

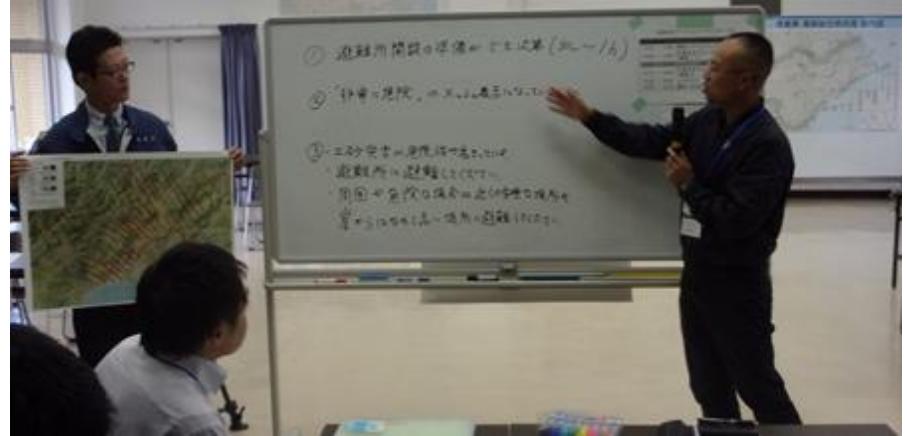
#3

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
① 知る機会を増やす	◎水災害、流域治水の広報   地域   個人   企業・団体	広報誌、Webサイト、防災パネル展等を活用した取り組み状況の啓発・周知		
② 自分事と捉えることを促す	◎リスク情報等の提供   地域   個人   企業・団体	浸水想定区域、土砂災害警戒区域等の公表 防災マップの作成・配布、洪水土砂災害ハザードマップの更新・配布 危機管理型水位計・監視カメラの整備 「緊急速報メール」、SNS、地域情報チャンネル等を活用した水害等リスク情報の発信		
	◎教育活動   地域   個人	「那賀川水系の未来を考える勉強会」を開催 小中学校、自治体等からの依頼による防災出前講座、ワークショップの開催		
	◎訓練活動   地域   個人	排水ポンプ車操作訓練の実施 水防技術訓練の実施	住民参加型の避難訓練を実施	
③ 行動を誘発する	◎計画策定   地域   個人   企業・団体	防災指針（立地適正化計画の作成・公表） 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 ファミリータイムラインの作成啓発		
	◎水災害対策の支援   個人	「田んぼダム」の取組を推進 農業用ため池浚渫事業の活用による支援		
	◎水防活動の支援   地域   個人   企業・団体	重要水防箇所の合同巡視 樋門操作説明会		

- 第6回那賀川流域治水協議会で決定した、「関係住民等の流域治水への理解を深める取組」を実践していくため、令和4年7月から住民(防災士・地域自主防災会・企業・団体等)主体の流域治水に関する勉強会を 現在までに37回実施し、累計参加人数が1, 300名となった。
- また、イベントにおけるPR活動やワークショップを開催し、地域住民の方々が水災害のリスクや流域治水について知る機会を増やしている。
- これらの取組により、那賀川水系流域治水プロジェクトを確実に実践・深化させていく。



「那賀川水系の未来を考える勉強会」



気象防災アドバイザーの普及啓発・育成



防災まつり



ハザードマップの周知および住民の水害・土砂災害リスクに対する理解促進の取組